

平成26年度学生支援プロジェクト採択事業一覧

No.	プロジェクト名	概要	配分額(円)
1	商店街活性化プロジェクト	近年、郊外のショッピングセンターに押され、利用者が減ってきている高松の商店街を活性化することを目的とする。具体的な方法は常磐町、田町、南新町商店街周辺の服飾店・美容院にご協力いただき、ファッションショーを開催する。このファッションショーを通して大学生など若者に商店街のお店を知ってもらう。また、地域情報誌「瓦版」の発行を行い、服飾店・美容院に限らず商店街の魅力発信を行っていく。	260,000
2	なえどこ夜教室	私たちは香川大学で、地域活性化に関する活動の情報不足、相談者や同志との交流の場の不足、気軽に参加できる学びの場の不足という現状を感じていました。そこで、地域活性化について学ぶ機会を学生自らが創り出し、広く大学生に学んでもらえる仕組みを作ることを目的に活動を始めました。その一つが「なえどこ夜教室」です。これは毎月2回「地域」と「働く」をテーマに、いろいろな地域で地域活性化や地域に関わる仕事・活動をされている方をお呼びして講演会やワークショップを開催するという学生企画による学生のための勉強会です。今まで9回実施しています。今回はこのなえどこ夜教室の継続とこれまで講演をしていただいた講師の方の職場に実際に行ってみて講演会で学んだことをより深める職場見学会の実施、また、講演記録パンフレットを作成したいと考えています。	240,000
3	はばたけ！ Bonsai Girls！	高松市は、日本の松盆栽のシェア80%を占める全国でも有数の盆栽の産地である。しかし、盆栽は高級、かつ高齢者の方の趣味という印象が強いため、若い世代になじみがない。そこで、女子大学生という、より親しんでもらいやすい立場から、盆栽を多くの人に知ってもらうためにワークショップやイベントを行う。	150,000
4	直島未来会議プロジェクト	2度の瀬戸内国際芸術祭を経て、直島の環境は著しく変化している。「直島未来会議」と題した住民とのワークショップ、意見交換を通して、住民と共に直島の歩んできた歴史、現状、そして「これから」について考える。	260,000
5	香川ぬいぐるみ病院	・保育園や、児童館など子どもが集まる場所で、保健教育や模擬診察を行うことにより、病院や医療に対する恐怖心や不安感を取り除き、積極的に治療/予防に取り組む気持ちを持ってもらう。 ・実施に参加した子どもたちを中心に、家族や地域に予防の輪、健康の輪を広げていく。 ・ぬいぐるみ病院に携わる学生自身が、活動を通じて正しい知識を身につけさらに発信していく力を養う。	230,000
6	科学する心を育てる ～発達障害を持つ子どもたちと～	発達障害児とその家族を対象とした夏合宿(徳島県板野郡板野町那東字キビガ谷「あすたむらんど徳島」で開催)にて、ボランティア活動を行うと共に、「あすたむらんど徳島」の一施設である「子ども科学館」を利用する時間を本プロジェクトメンバーにより企画し、発達障害を持つ子ども達に自然との触れ合いやさまざまな遊びの場を提供し、子ども達の豊かな心・科学する心を育むための一つの機会とする。さらに、子ども達をサポートするなかで、学生自身も発達障害を持つ子どもとその家族を理解することで成長し、将来、医療に従事するための糧とする。	110,000
7	三俣山荘における登山者支援プロジェクト	三俣山荘に併設されている診療所の診療器具を一層充実させ、医師の診療環境を整えます。また、登山客の安全のために登山知識を広める活動を行います。	140,000
8	香大生と地域の交流を促すアドブリプロジェクト	本プロジェクトでは、香大生と地域の交流を支援する広告付きコピー/プリントサービス(アドブリ)を実現することを目指します。アドブリプロジェクトとは、香大周辺の地域情報を、香大生が利用するコピーやプリントの裏面に広告(Advertisement)として印刷することで、香大生に地域情報を提供するサービスを実現するプロジェクトです。地域情報を発信する団体・個人が用紙やトナーなどの運用に関わる物品の一部を負担することで、香大生は無料でコピーやプリンタを利用することができます。また本プロジェクトでは、香大生の属性(学年、学部、性別など)に応じ、広告として提供される情報を変更することができる広告印刷機能を、印刷機やコピー機開発のメーカーと連携して開発します。 本プロジェクトを推進することで、香大生が地域に目を向ける機会を増やす効果が期待できるとともに、香大生にとって利便性の高いコピー/プリンタサービスの提供を実現します。	260,000
9	理科実験・ものづくり教育支援活動	・青少年の理科やものづくりに対する興味喚起 ・体験学習を通じた科学技術理解への支援 ・コミュニケーション能力の向上	260,000
10	Discover Kagawa through Science and English	英語は近い将来、必須の能力になると言えるだろう。また、文部科学省では2020年を目標に新たな英語教育を展開する計画を発表した。私たちは、それに先駆け、新たな英語教育の一環として、そして香川の高校生にもっと香川県、さらには香川大学のことを知ってもらうため『香川県の環境、特産に関する』全英文の本を製作する。 この本では、高校生に興味を持ってもらうために写真、イラストなどを多用し、最終目標として、「英語で自分の故郷を説明出来る。」こととする。また、巻末に索引、問題、解説を追加することにより、日頃の勉強にも対応できるようにする。 全英語本には以下三つのテーマを取り上げる。(1)香川県における水不足の問題(2)農学部が研究している希少糖(3)香川名物うどんに関する排水問題。作製した本を図書館などに設定して頂くことにより地域貢献を行う。	210,000
11	～香農だから可能にできる～ 地域密着！未来を育むDプロジェクト	本事業では3つの「Dプロジェクト」を柱として行います。 香川大学農学部は希少糖の発見・開発で有名となりましたが、希少糖を使った香川大学オリジナルのブランドはありません。そこで、香川大学学生自身によるブランド商品開発を行うことにより、地域や大学の活性化を目指します。 また、子どもたちへ野菜などを手に取ったり、土の暖かさなどを実際に感じる事ができる収穫体験を通じて、食育活動を行います。 さらに、小学生に対して自然体験をもとにした合宿型の理科教育を行うことで、理科への関心を深めてもらいます。 以上のように、本事業では、香川大学農学部にはできないプロジェクトを行います。	300,000
12	棚田発！日本のこころプロジェクト	近年、棚田はただ米を作るだけではなく、文化的景観としても注目を集めている。映画「八日目の蝉」の舞台となった小豆島の中山地区は全国棚田百選にも選ばれ、訪れる人々の目を惹きつけている。しかし、現実では高齢化などにより、耕作放棄地が年々増加し、その景観は失われつつある。2013年の夏、SUIJIのプロジェクトで小豆島を訪れた私達は「伝統を、この美しい景観を守りたい」という地域の強い思いに感銘を受けた。そして「私たちにも何かできる事はないだろうか」と考え、この様なプロジェクトを立ち上げた。このプロジェクトでは、今年から始まる中山地区の事業「オーナー制度」のボランティアに加わりつつ、私たち自らも稲作を行い、棚田を中心とした持続可能な地域社会の未来について地域住民と考えていく事を目的としている。	270,000
13	ことでん瓦町ビルを活性化しよう-サイエンスによる地域貢献	地域貢献事業である「おもしろワクワクサイエンス展」を中心に、1)ことでん瓦町ビルと瓦町商店街を活性化するためのミニイベントの開催、2)ことでん瓦町ビル10階ならびに屋上を会場にしたサイエンス展の実施、3)参加企業とのコラボレーション企画を計画し、機能的・効率的に実施することにより地域活性化とサイエンスの普及に貢献する。	280,000

配分額合計 2,970,000 円